



## 日本財団パラスポーツサポートセンター・日本福祉大学 共催シンポジウム 「東京2020パラリンピック競技大会のレガシー」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルスの感染拡大により、オリンピック・パラリンピック史上初の延期という事態に見舞われました。一年後の2021年、両大会は緊急事態宣言が敷かれる中、無観客にて開催され、全ての競技日程は無事に終了しました。

開催前に期待されたパラリンピック大会のレガシーはどの程度創出され得るのか、今後どのようにレガシーを活用していくのか等について、実務家、研究者、パラリンピアン、ジャーナリストらを交えて議論します。

**日時** 2022年1月12日（水） 14:00 – 16:30（受付開始13:30）

**形式** オンライン（Zoomウェビナー）

**参加費** 無料

**主催** 日本財団パラスポーツサポートセンター・日本福祉大学

日本福祉大学スポーツ科学部開設5年・日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科開設・  
日本福祉大学東京サテライト開設20年記念

### お申込み

参加をご希望される方は、こちらのGoogleフォームよりお申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1y9MBVWlmudVsQwdhIn4EfNzSEkTdKmhPXLPrOGpK6kQ/edit>

※上記フォームからお申し込みができない場合は、「氏名・所属・役職・その他（情報保障等）」をご記入の上、  
メールにて [research@parasapo.tokyo](mailto:research@parasapo.tokyo) にお送りください。

- ☆ 後日、お申し込みをいただいた方にZoomウェビナー視聴用URLと当日のご案内をお送りします。
- ☆ 当日のウェビナーの録画・録音・キャプチャの撮影はご遠慮ください。

### 【メディアの皆様へ】

取材をご希望される方は、後日、主催団体広報から配信する**取材申込書**からお申し込みください（Zoomでのオンライン取材となります）。  
視聴のみの方は、上記Googleフォームからお申し込みください。

### お問い合わせ

日本財団パラスポーツサポートセンターパラリンピック研究会（2022年1月1日より団体名称が変更になりました）

担当：中島・池田

Email: [research@parasapo.tokyo](mailto:research@parasapo.tokyo)

## プログラム（敬称略）

基調講演	14:05 - 14:35	「東京大会を振り返って ～東京2020モデルと片翼の小さな飛行機の物語～」 中村 英正（東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）
報告	14:35 - 14:55	「パラリンピック無形のレガシーは残ったか？」 藤田 紀昭（日本福祉大学）
休憩	14:55 - 15:05	
総合討論	15:05 - 16:25	モデレーター：藤田 紀昭  玉木 正之（スポーツライター） 土田 和歌子（パラリンピアン・陸上） 中村 英正（東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会） マセソン 美季（国際パラリンピック委員会） 三井 利仁（日本パラ陸上競技連盟）

スピーカーは都合により予告なく変更となる場合がございます

## 登壇者プロフィール（50音順）



### 玉木 正之

東京大学教養学部中退。日本福祉大学客員教授。スポーツ文化評論家として音楽、オペラ等も執筆。主な著書に『スポーツとは何か』（講談社現代新書）、『今こそ「スポーツとは何か？」を考えてみよう！』（春陽堂書店）、『彼らの奇蹟』（新潮文庫）、『オペラ道場入門』（小学館）など。訳書にR・ホワイティング『ふたつのオリンピック』（KADOKAWA）など。



### 土田 和歌子

高校の2年時、交通事故に遭い車いす生活となる。長野1998大会ではアイススレッジスピードレース1000m・1500mで金メダルを獲得。翌年、陸上競技に転向し、アテネ2004大会では5000mで金メダルを獲得し、日本人史上初の夏・冬パラリンピック金メダリストとなった。東京2020大会ではトライアスロンと車いすマラソンの2種目に出場。



### 中村 英正

東京大学法学部、ハーバード大学ケネディスクール卒業。財務省、在アメリカ合衆国日本国大使館、フランスのOECD等で勤務を経て、東京2020組織委へ。前半は企画と財務、後半はオリパラ史上初の延期となった大会の準備に取り組む。大会期間中はメインオペレーションセンターチーフとして、運営を切り盛り。



### 藤田 紀昭

日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科教授、博士（社会福祉学）。筑波大学大学院体育研究科修了。徳島文理大学専任講師、同志社大学スポーツ健康科学研究科教授などを経て現職。研究分野はスポーツ社会学、障害者スポーツ論。現在、スポーツ庁スポーツ審議会「健康・スポーツ部会」「スポーツ基本計画部会」委員、及び公益財団法人日本パラスポーツ協会技術委員会副委員長。



### マセソン 美季

国際パラリンピック委員会理事。国際パラリンピック委員会・国際オリンピック委員会で教育委員（2018年～）。スポーツと教育の力を活用しながら、「全ての人が、居場所を見つけ、可能性を発揮できる、誰1人として取り残されない社会」を目指し、国内外で活動中。パラリンピアン。カナダ在住。



### 三井 利仁

日本福祉大学大学院スポーツ科学研究科教授、博士（医学）。一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 専務理事。日本パラリンピック委員会強化本部 本部長（2022.1.1就任予定）。アトランタ1996パラリンピック以降、東京2020パラリンピックまで陸上競技にコーチ、監督、運営サイドとして関与。